



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 松木 宏道 (TEL) 03-3240-9534
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	38,828	△2.3	1,441	84.7	1,401	30.8	983	30.0
2025年3月期第1四半期	39,742	6.2	780	15.4	1,071	95.2	756	180.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 810百万円(△32.1%) 2025年3月期第1四半期 1,193百万円(25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	24.47	—
2025年3月期第1四半期	18.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	75,101	38,355	50.3
2025年3月期	74,634	38,908	51.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 37,755百万円 2025年3月期 38,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.1	3,200	△10.3	4,000	△11.5	3,000	△11.2	74.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社(社名) Meiwa (Thailand) Co.,Ltd.、除外 - 社(社名) -
Thai Meiwa Trading Co.,Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	40,332,400株	2025年3月期	40,332,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	133,363株	2025年3月期	137,204株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	40,196,156株	2025年3月期1Q	41,189,935株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は業績連動型株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、当該制度に係る株式交付信託の保有する当社株式116,348株を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、388億2千8百万円と前年同期の2.3%にあたる9億1千3百万円の減収、営業利益は14億4千1百万円と前年同期の84.7%にあたる6億6千万円の増益、経常利益は14億1百万円と前年同期の30.8%にあたる3億3千万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、9億8千3百万円と前年同期の30.0%にあたる2億2千7百万円の増益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は24.47円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第一事業、電池・自動車事業が好調に推移したものの、第二事業、第三事業が低調に推移したため、減収となりました。
- ・営業利益については、利益率の高い商材の売上が好調に推移したため、増益となりました。
- ・経常利益については、持分法による投資利益の減少及び一部取引において為替差損が発生したものの、営業利益の増加のため、増益となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記要因の結果、増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメントごとの主な事業及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤原料、粘接着剤原料 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
電池・自動車事業	電池材料事業 自動車事業	電池材料 自動車部品関連

① 第一事業

売上高は、112億1千6百万円と前年同期の5.5%にあたる5億8千3百万円の増収、セグメント利益につきましては、8億7千5百万円と前年同期の151.7%にあたる5億2千7百万円の増益になりました。

これは主に各事業が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、環境関連は前年同期並に推移したものの、レアアース・レアメタル、金属関連は低調に推移
- ・難燃剤事業は、好調に推移
- ・機能建材事業は、防水材は好調に推移したものの、断熱材、内装材ともに前年同期並に推移

② 第二事業

売上高は、103億8千5百万円と前年同期の14.0%にあたる16億9千5百万円の減収、セグメント利益につきましては、2億1千9百万円と前年同期の3.2%にあたる6百万円の増益になりました。

これは主に各事業が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイル、添加剤は低調に推移
- ・海外向けベースオイル、添加剤は前年同期並に推移
- ・中国潤滑油事業は、冷凍機油、産業機械潤滑油は好調に推移

③ 第三事業

売上高は、148億6千5百万円と前年同期の1.8%にあたる2億7千万円の減収、セグメント利益につきましては、1億7千万円と前年同期の40.9%にあたる1億1千8百万円の減益になりました。

これは主に各事業が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・高性能素材事業は、印刷原材料は前年同期並に推移したものの、フィルム製品は需要の反動減により低調に推移
- ・機能化学品事業は、製紙薬剤原料は前年同期並に推移したものの、粘接着剤原料は低調に推移
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料は前年同期並に推移したものの、合成樹脂製品は低調に推移
- 上記に加えて、株式会社タカロクの株式取得関連費用を計上したこともセグメント利益減益要因
- ・無機薬品事業は、好調に推移

④ 電池・自動車事業

売上高は、23億6千1百万円と前年同期の24.8%にあたる4億6千8百万円の増収、セグメント利益につきましては、2千3百万円と前年同期の84.7%にあたる1億2千8百万円の減益になりました。

これは主に各事業が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・電池材料事業は、中国において自動車用などの電池材料販売が好調に推移
- ・自動車事業は、持分法適用会社の業績が低調に推移したため減益

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、751億1百万円と前連結会計年度末の0.6%にあたる4億6千6百万円の増加となりました。負債は、367億4千6百万円と前連結会計年度末の2.9%にあたる10億1千9百万円の増加となり、また、純資産は383億5千5百万円と前連結会計年度末の1.4%にあたる5億5千2百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は50.3%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、主にその他流動資産の増加により、流動資産が前連結会計年度末の0.9%にあたる4億9千9百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に短期借入金の増加により、流動負債が前連結会計年度末の4.6%にあたる14億7千9百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に剰余金の配当を行ったことにより、利益剰余金が前連結会計年度末の2.0%にあたる5億1千2百万円の減少となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月30日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,382	8,512
受取手形、売掛金及び契約資産	33,538	33,411
電子記録債権	7,882	7,765
商品	7,019	7,207
その他	760	1,188
貸倒引当金	△164	△166
流動資産合計	57,418	57,918
固定資産		
有形固定資産	1,329	1,333
無形固定資産	77	67
投資その他の資産		
投資有価証券	14,453	14,459
その他	1,380	1,342
貸倒引当金	△24	△19
投資その他の資産合計	15,809	15,782
固定資産合計	17,215	17,183
資産合計	74,634	75,101
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,768	23,440
電子記録債務	4,703	4,612
短期借入金	991	3,068
1年内返済予定の長期借入金	20	520
未払法人税等	795	273
賞与引当金	986	653
役員賞与引当金	15	18
その他	1,004	1,177
流動負債合計	32,284	33,763
固定負債		
長期借入金	521	16
退職給付に係る負債	84	92
株式報酬引当金	30	38
その他	2,806	2,834
固定負債合計	3,442	2,982
負債合計	35,726	36,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,793	2,793
利益剰余金	25,083	24,570
自己株式	△83	△80
株主資本合計	31,817	31,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,876	2,942
繰延ヘッジ損益	△20	△1
為替換算調整勘定	3,317	3,025
退職給付に係る調整累計額	477	481
その他の包括利益累計額合計	6,651	6,448
非支配株主持分	439	599
純資産合計	38,908	38,355
負債純資産合計	74,634	75,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	39,742	38,828
売上原価	36,807	35,154
売上総利益	2,934	3,674
販売費及び一般管理費	2,154	2,232
営業利益	780	1,441
営業外収益		
受取配当金	37	35
持分法による投資利益	243	83
その他	35	31
営業外収益合計	316	151
営業外費用		
為替差損	—	167
電子記録債権売却損	6	—
その他	18	22
営業外費用合計	25	190
経常利益	1,071	1,401
特別利益		
匿名組合投資利益	37	—
その他	0	—
特別利益合計	37	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	—	9
その他	0	0
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	1,109	1,392
法人税、住民税及び事業税	174	303
法人税等調整額	156	78
法人税等合計	330	382
四半期純利益	778	1,010
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	756	983

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	778	1,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△336	49
繰延ヘッジ損益	9	18
為替換算調整勘定	491	△132
退職給付に係る調整額	8	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	243	△127
その他の包括利益合計	415	△199
四半期包括利益	1,193	810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,169	780
非支配株主に係る四半期包括利益	23	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	電池・ 自動車事業	計		
売上高							
日本	9,580	1,419	14,213	363	25,577	—	25,577
中国	404	10,254	540	1,510	12,709	—	12,709
その他	647	406	382	18	1,455	△0	1,455
顧客との契約から生じる収益	10,632	12,081	15,135	1,892	39,742	△0	39,742
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,632	12,081	15,135	1,892	39,742	△0	39,742
セグメント間の内部 売上高又は振替高	128	15	12	—	156	—	156
計	10,761	12,096	15,148	1,892	39,898	△0	39,898
セグメント利益 又は損失(△)	347	212	288	151	1,000	△49	950

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,000
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△49
セグメント間取引消去	△24
全社費用(注)	145
四半期連結損益計算書の経常利益	1,071

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	電池・ 自動車事業	計		
売上高							
日本	10,198	1,545	13,543	161	25,448	—	25,448
中国	404	7,887	538	2,189	11,019	—	11,019
その他	613	952	783	10	2,359	—	2,359
顧客との契約から生じ る収益	11,216	10,385	14,865	2,361	38,828	—	38,828
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,216	10,385	14,865	2,361	38,828	—	38,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	133	14	15	—	164	—	164
計	11,350	10,400	14,881	2,361	38,993	—	38,993
セグメント利益 又は損失(△)	875	219	170	23	1,288	△66	1,222

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,288
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△66
セグメント間取引消去	△35
全社費用(注)	215
四半期連結損益計算書の経常利益	1,401

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

1 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	65	61

(重要な後発事象)

(株式取得による企業結合)

当社は、2025年6月25日開催の取締役会において、株式会社タカロクの全株式を取得して子会社化することを決議し、2025年6月25日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、2025年7月9日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社タカロク

事業の内容 熱可塑性樹脂原料販売事業、熱可塑性樹脂の着色・コンパウンド事業、
プラスチックのリサイクル事業、プラスチック関連機器・システムの販売事業

② 企業結合を行った主な理由

当社の合成樹脂事業では、汎用樹脂からエンジニアリングプラスチック、エラストマーなどの合成樹脂原料及びその一次加工品から製品まで広範囲に渡る商材の販売とともに、中期経営計画でマテリアリティとして掲げる「環境負荷の低減」に向けた取組みの一環として、循環型社会の構築、合成樹脂の4R (Reduce、Reuse、Recycle、Renewable) 推進を実現するため、環境配慮型樹脂であるバイオマスプラスチックの販売やプラスチックのリサイクル事業に注力しております。

株式会社タカロクは、創業60年以上合成樹脂の分野に特化し、原料販売、コンパウンド製造、リサイクルの3事業を軸に展開し続けております。リサイクル事業においては、使用済プラスチック製品の回収、粉碎、熔融、原材料化の過程で開発機能を駆使し付加価値のあるリサイクルプラスチックの開発・製造を行っております。

株式会社タカロクが当社グループに加わることにより、原料調達、物流、販売において双方の強みを補完しあうことにより競争力の強化が図れ、更にコンパウンド製造、リサイクルにおいては廃プラスチックの回収からエンドユーザーへの販売までより強固なサプライチェーンを構築することができると考えます。

当社は株式会社タカロクとのシナジー効果を最大限発揮することにより、サーキュラーエコノミーに係る事業の推進や環境配慮型ソリューションの提供を実現し、さらなる企業価値向上を目指します。

③ 企業結合日

2025年7月9日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

株式会社タカロク

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社による現金を対価とする株式取得であるため

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,490百万円
取得原価		1,490百万円